

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス吉野ヶ里教室		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・令和7年9月に移転後、清潔感・心地よく過ごす空間作りを工夫したり、職員や児童たちの意見を取り入れながら落ち着いた環境を作りあげている。	・教室の配置・物品等で危険を伴う場所は、職員や児童と一緒に確認をしながら安全対策を行う。 ・ミーティングの中で職員間の振り返り・申し送りをを行い、児童がより楽しめる活動内容を話し合っている。	・活動の安全面を考慮しながら、見守り言葉かけを行い、安全で安心して過ごす環境を整え事故や怪我がないように注意を払い支援する。
2	・活動内容への認識や理解を深めてもらえるよう、保護者様やHpにて「教室おたより」を配布している。 ・定期的な様々な訓練を取り入れている。 (火災・水害・交通・地震等)	・「教室おたより」を毎月作成を行い、保護者様を中心に配布をする。 ・様々な公共機関や施設を利用し、職員はスキルアップを図りみんなが決まりやマナーを学ぶことができる。	・おたよりの見直しを定期的に行い、より見やすく分かりやすく工夫する。 ・災害時の訓練では危険や恐怖を与えないよう、自身を守る方法を伝える。
3	・季節を感じることができるイベント活動や、他教室との交流の場を設けた活動や、その他体験等のイベントを取り入れている。	・季節感を感じる遊びを楽しめるように、四季を味わえるテーマを主とした体験。 ・他教室との交流を深めながら、他者とのかかわりに楽しさを感じたり職員間の情報交換に繋げている。	・集団活動の中での約束やルールを知り、社会性を身につけることができるイベント活動をたてる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎などで日にちや時間によっては、ゆっくり児童とかかわることができない事もある。	・たくさんの学校へ迎えに行くため、下校時間がまばらで、出づっぱりになる職員もいる。	・受け入れる学校の範囲を限定する。 ・遅い下校対応の送迎に出る職員を固定化せず、平等に事業所内で子どもたちとかかわることができる時間を確保する。
2	・送迎時間の都合で教室内の療育時間を十分に保てないことがある。	・普通学校の高学年児童が増えたり、移転のため学校が遠くなったため。	・移転もあり、学校が遠くなったことで送迎の見直しを行い、滞在時間を延ばせるように工夫する。
3	・地域に密着した活動を行うことが少ない。	・地域活動の情報不足や近隣住民方とのかかわりが少ないことで、地域活動への参加が遅れている。	・少しづつかかわりを広げ、情報収集に図りながら地域活動への参加を取り入れる。交流会等で児童たちの社会性を養っていく。